

会議録（要点筆記）

会 議 名	第5期 第5回米原市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	平成29年3月29日（水）午後3時00分～午後4時50分
開 催 場 所	山東庁舎 会議室2AB
出席者および欠席者	出席者：大石委員、福永委員、岩山委員、垣見委員、鈴木委員 事務局：小寺課長補佐、竹本主任 傍 聴：1名 欠席者：吉原委員、高木委員、吉川委員
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回のふりかえり</li> <li>・ 市民活動拠点の在り方の整理について（骨子案から）</li> <li>・ 意見交換</li> </ul>
結 論	
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	<p>1 開会</p> <p>※事務局進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の会議が成立していることを報告</li> </ul> <p>2 あいさつ</p> <p>先日、ベルギー・ブリュッセル市にあるEU連合を訪問した。不運にもテロが発生した日であり、移民をどう地域で受け入れていくか、EU連合が検討しているところであった。</p> <p>EU連合は自治会とは違うローカルアクショングループ（地域での活動体）を推進している。地域コミュニティの再生のために始まった取組だが、移民問題や、外国人問題にも派生している。移民受入は地域コミュニティの絆や礎ができていないと難しいのが現状。米原でもこれからは外国人が増えていくと考えられるが、それに付随して地域コミュニティの重要性が高まってくる。今回の市民活動拠点についても未来に向けて議論すべき重要な点である。</p> <p>3 前回の振り返り</p> <p>第4回で出た意見をボードに貼っているの、前回の議論を思い出しながら、改めて皆様の御意見をお伺いしたい。</p> <p>表には出ないが、様々な思いを持つ人がいると分かったことが印象的。見つけるのは難しいが、うまくそういう方に力になってもらいたい。</p>
副会長	
副会長	
委員	

副会長	<p>潜在的にいるそういった方達とどうつながるかが重要。単なるプラットフォームだけでなく、アクティブにこちらから出ていくような仕組みが必要。</p>
委員	<p>それぞれみんなができることで関わるのが重要。後継者育成の問題もある。</p>
副会長	<p>リーダー像が変化している。昔は強力なリーダーであれば良かったが、今はいろんな思いや能力をうまくマネジメントできるリーダーが求められる。</p> <p>また、組織を継続させるには、多様な人材を集め、高齢者から若者までの縦の関係をどう作るのかも重要。自治会長などの役割は仕方なくやっている人も多いという意見が前回出たが、実務的な処理を補助するような機能も拠点には重要であると考えている。</p>
委員	<p>表に出ない方達が自由に参加できる空間づくりが重要だと、私も思う。</p>
副会長	<p>萎縮せずに誰もが集まれる雰囲気はどう作るかは重要。ソーシャルイノベーション推進の場として、イギリスのインパクトハブの事例を前回報告したが、しつらえ等で大きく雰囲気が異なるので、ハード面の工夫も重要。</p> <p>このような意見を事務局で書面に落としこんだものが資料1の内容である。事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>※資料1の内容を説明</p>
副会長	<p>資料1の「つながりのある拠点」と「ひろがりのある拠点」について、つながりは偶然に生まれた機会といった印象で、そのつながりによってさらに何かが生み出されていくというのがひろがりという流れ。</p> <p>「多様性と柔軟性のある拠点」について、若い人の集まる活気のある場所にはイノベーションが起こる可能性がある。同じ分野の中では限りがあるが、今つながっていないところがつながるだけで新たな可能性が広がる。</p> <p>「外部への発信力のある拠点」について、いかに相手を見据えて届けるかが重要であり、丁寧に情報を紡いでいくということが必要。</p> <p>これらの分類以外に、表に出ない思いを持った人や、物理的に拠点に来られないような人に向けた、新たな役割を資料1の最下部に記載している。声なき思いに応える仕組みとして、前例が無いような拠点機能を付け加えるべきではないか。</p> <p>4 これまでの会議の振り返り（骨子案から）</p>
副会長	<p>意見交換の前に、骨子案の議論に入りたい。事務局から説明をお願いしたい。</p>

事務局	※資料2の「背景」および「米原市の市民活動の現状」を説明
副会長	「背景」および「米原市の市民活動の現状」について、皆様からご意見を頂きたい。
委員	健康ウォーキングなど、歩くことに興味のある人のイベントに参加しているが、5年経っても自分たちの仲間の輪から先に広がらない。ただ、市からはサークルごとの壁を取り払う工夫をしていて、少しずつ取組は充実しているように思える。年を重ねるといろんな方と交流することに意味があると感じる。
委員	たくさんの人に集まってもらうようなイベントは大変。決まったコミュニティの中でも集まってもらうのは難しい。
委員	確かに人集めは大変。スポーツ系だと、例えば会員400人いても、それぞれの目的が違う。入口をスポーツとした上で、地域活性化や人のつながり、多世代交流の創出を目的にしているが、そこまでの理解があって会員になる方はいない。 今回の課題を見ていると、イベントや講座を実施することが重要だと感じた。
副会長	もちろんイベントなども重要だが、活性化のためにイベントをすると疲弊し、続けられなくなっていく。イベント回数を減らしてでも日常的につながれるような場を活用していけるとよりよくなるのではないか。
委員	イベントをたくさんする必要はないと感じている。最初私たちの活動はテーマを決めてゲストを招いて実施していた。ゲストが来ると人も集まりやすいが、準備が大変になる。日を決めて集まるだけに形を変えたが、それでも、来た人が自分の活動を報告しあうような場になっている。
委員	情報をキャッチする気持ちがないと良くない。歴史を学ぶのが好きなサークルなどたくさんあるが、地元の歴史を知らない人も多い。
委員	昨年ワークショップを6回実施した。初めて参加した方に聞くと、4町合併により告知範囲が大きくなったが、他の町域に知り合いが居らず行きにくい、参加するきっかけがないとの話だった。そういった方をどう引き込むか、工夫をしている。特に若い方がきっかけを掴めないとっている。興味がないわけではないが、知り合いがいらないから行けないという状況。
副会長	拠点が出来ると相談ごとも地域を離れて気楽に来られるという意見もあった。誰もが来やすい場所というのも重要だと感じている。

副会長	<p>5 市民活動拠点の在り方の整理についての意見交換（骨子案から）</p> <p>では拠点の必要性について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>※資料2の「拠点の必要性」を説明</p>
委員	<p>高齢化社会では“出向く支援”は重要。訪問支援型の成功例や具体的なアイデアはないか。</p>
事務局	<p>拠点でのイベントを告知しても、遠くの人には行きにくい。</p> <p>例えば、公園などでまちづくりのノウハウを持った中間支援組織が、花を植えるような小さな活動を始めることで、その公園の近くに住む住民は気軽に参加できる。参加してもらうことで、拠点の存在を認識してもらえ、まちづくりにも興味を持ってもらえる。</p> <p>また、もしその公園でボランティア活動をしている団体があるなら、中間支援組織はその団体と一緒に活動することで、まちづくり活動のコツや他の団体とつながるきっかけをつくること出来る。人が人に伝えに行くということで生まれる効果を期待したい。</p>
委員	<p>自分の住んでいるところでボランティア活動をされている人はたくさんいる。拠点組織の人がボランティアと一緒に交流しながら活動をするということか？</p>
副会長	<p>課題について自ら相談しないような方に対しても、拠点組織の人が出向くことで助言することができる。よい取組は地域の中で完結するのではなく、拠点に持ち帰り共有することで、他の団体は参考にできる。</p>
委員	<p>地元で色々な企画をしており、高齢者を集めた防犯意識のための勉強会や孫くらいの若い人のコンサート会などを行っている。</p>
副会長	<p>ある程度大きな組織でないと出来ないこともある。新しい拠点が大学や高校と協定を結ぶことで学生などの関わりも増やすことができる。学校側も地域実践の場を重要視しており、そういった場を求めている。</p>
事務局	<p>先程の委員のお話で例えるなら、拠点の中間支援組織が、地域の実情を把握し、活性化のアイデアも持っている委員を訪問し、話し合うことでアイデアの実現化、発展につなげていくイメージ。そのアイデアはその地域で実施するため、まちの活動に関わる楽しさを地域の方に知ってもらいやすいと考えている。</p>

委員	地域の中の人たちだけではなく、外からも支援するという事なのか。
事務局	参加する事が楽しいと気づいてもらうことが大事であると考えている。
副会長	コミュニティを大きくするのではなく、小さなコミュニティがどれだけつながっていくか。そのつながりが地域の再生力や柔軟性を生んでいくと思われる。
委員	先程話したコンサートの件で、他地域の人にも来てほしいのでポスターを貼るが、来てもらえない。活動の情報が広がって欲しい。
副会長	発信者に拠点という第三者が関わることで変化が生まれるかもしれない。
委員	私は、講師やコンサルティングの方を派遣するといったことを思い描いていたので、少し印象に相違があった。大きな拠点が出来るというよりそれぞれが地域で拠点になるというイメージ。それがつながり、図にあるような線の数、つながりの数がどんどん増えていくという印象を持っていた。
委員	入口として取り組んでいる、出前講座や保健師などの機能、そして、企画者をつないでもらう機能等、今の市役所がしている機能との差異が分かりにくい。 例えば今仕事している施設の中に様々な活動組織があって、施設を介して利用者同士でつながりもある。その拡大版が活動拠点なのではないかと思う。
副会長	それぞれの活動をボトムアップするために、活動と活動がつながっていく手助けを行うのが拠点到に求められている。市役所の機能だけではないものが必要。
事務局	資料2の「市民活動拠点が目指すべき在り方」の青い丸の部分は、公民館などの施設だけでなく、活動している団体や個人も表している。それを拠点がどうつなげるかというイメージ図である。
委員	“旧町単位”や“スポーツ”といった範囲でのつながりは今もあるが、もっと細かな部分を拠点によって全市的に広げていく形が重要なのではないか。今あるものより大きく広いものになるのではないか。
委員	今関わりのないところと接点をどう作っていかうと考えているか。
事務局	接点はイベントなどへの参加や既につながっている団体の広がりなどからとなる。個人や団体はそれぞれにネットワークを持っているので、そのネットワーク

副会長	<p>をつなげていくことが重要。拠点に来てもらえない人とも、つながりを作れるといい。</p> <p>京都北部に大学地域連携協議会というのがあって、産・官・学・民がプラットフォームを作っている。パイロット事業として、それぞれのテーマの課題を設定し、いろんな団体に入ってもらい進めるというやり方。その方法でこれまで出会うことがなかった人がつながるきっかけになる。漠然としていても進まないで、事業という枠組をつくることで進めていける。</p> <p>拠点として空間的につながる場をもっていることと、待っているだけでなくつなげるために出向いていくことは重要。しかし、ピンポイントで団体として動くよりも具体的な事業などを通し、目的を共有しないと一緒にやっていくことは難しいのかもしれない。空間的な機能を持っている部分と具体的に物事を動かしていく部署という2つの面がないといけないのではないか。</p>
委員	<p>集い話し合うテーマは自然発生的なものより、ある程度課題性を持って決めたテーマの方がいいのかもしれない。</p>
副会長	<p>その仕組みをどうするか。拠点の運営体制にもよるが、市民協働で協議して出てくる形もあるし、市側からこれを考えて欲しいというのものもあるだろう。</p>
委員	<p>市民がどんな思いをもっているかというのを拾えるシステムを持っていないといけない。市民が求めているものをリサーチしないと実現できない。</p>
委員	<p>いろいろイベントは市内にあるが、20年前とそんなに形が変わっていない。もっと市民がお祭りらしく集まれる場になればと思う。</p>
委員	<p>お祭りなどは文化協会が実施する文化的サークルが実施しているのかもしれないが、別の活動をしている団体とつなげれば従来とは違う新しいアイデアを加えてよりよいものができるだろう。</p>
委員	<p>違う分野の人が同じ目的で話ができるというのが今回の拠点のねらい。</p>
事務局	<p>拠点に集まっている情報を興味関心のある活動団体にピンポイントに届けることもできる。人集めの手法ばかりではなく、活動を充実させたい団体にはその方法を伝えるなど、4つのキーワードから出てくる機能を備えたい。</p>
副会長	<p>例えばイタリアの地域拠点では、同じ空間の中でダンスをしている人や編み物をしている人がいる。趣味の活動をしていく中で、社会的起業やボランティアの</p>

委員	<p>話に派生したりと、その拠点は多様な使われ方をするようになっている。新しい米原の拠点でも会議室とは違う形で趣味と楽しみをよりよい社会につなげるような空間になればいいのではないか。</p> <p>市が実施しているマルシェでは、食べ物や小物などもあり、お互いに交流し合っていて素敵だと思うので、あのような取組を日常的に取り入れた拠点になるといい。</p>
副会長	<p>例えばマルシェで実施する体験を他のイベントで実施するなどの連携ができるといい。イベントとイベントをつなぐ連携を仕掛けられる拠点になればいい。</p>
委員	<p>市の総合計画でも市民が考えるべきことはたくさんあるので、市からの課題提供があった際には、市と市民と一緒に考えるべきこととして考えていけるといい。観光や商業的なことは、特にいろんな人が一緒に取り組むことで出来ることも増える。市民のいろんな人の力でやっていくという形になってほしい。</p>
副会長	<p>例えば他県から嫁いで来られた方には子育てだけでなく、特技を生かしてその地域で輝いてほしい。</p>
委員	<p>組織内部だけで考えるよりも、外部の意見を聞ける状況があれば、より良いものができると思う。今は外部団体との交流の機会はあまりないが、それをつなぐ拠点になればいいと思う。</p>
副会長	<p>イメージ図としては分かりにくいところはあったが、議論を続けることで理解の共有は出来たと思う。続いて具体的な体系図の議論に入りたい。事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>※資料2の「具体的に必要な機能《体系図》」、資料3を説明</p>
副会長	<p>つながり・ひろがりというのは、能力を引き出し、生み出し、新たに作っていくというイメージ。表現としてインパクトハブやオープンスペース、コワーキングなどの横文字を多用しているのは新しいものをつくるというメッセージ性を持たせるため。あるいはデザイン思考というやり方があり、トライアンドエラー（試行錯誤）をして、人に密着をし、そこからみえてくるものでデザインをつくり、修正し、改革していく方法も今は使われている。</p> <p>一方で多様性・柔軟性や外部発信の機能については、より親しみのある、暮らしに密着した馴染みのある言葉を選んで表現している。先ほどのアウトリーチも抽象的だという意見があったが、これは骨子なので、どう具体的な機能化をする</p>

委員	<p>のかは次の段階になる。委員の方には表現などについて、御指摘いただければと思う。また、資料3の見出しの部分新しくみんなに伝わるような表現に変えていきたい。そのアイデアを次回いただきたい。</p> <p>イメージはよくわかった。しかし他の市民の方が見たときに、公民館や既存の施設と何が違うのかが伝わらないのではないか。目指している趣旨は明らかに違うが、この10項目だけを目にした人は同じような機能はもうあるのではと言われてしまうので、新しさを示せることが重要になる。</p>
副会長	<p>細かい部分を羅列で見ってしまうと、一見すでに在るものと一緒と感じる。</p>
事務局	<p>公民館などの活動などはすごく大切で、これからも地域の拠点の一つとして、新しい拠点と連携していく必要がある。</p> <p>例えば今の公民館などには、今回の機能項目の中の4つや5つ分の機能は備わっているかもしれない。しかし、10項目全部を1か所で備えたところはないので、それが拠点の目新しさの一つとも考えられる。もし、既存の公民館にこれらの機能がすべて備わっていたら新しい拠点をつくる必要はないかもしれない。</p> <p>そのことを意見書に表現する必要がある。</p>
副会長	<p>多様性の中の⑨の機能にある、既存事業への政策提言の実施のことか？こういった機能は公民館にはないようにも思える。</p>
事務局	<p>政策提言は“老人会にも素敵な名前を”という意見があったので、そこから派生させて市民から出た意見の中で必要性のあるものを形にするということが重要ではと思い記載した。</p>
副会長	<p>市民の声をしっかりと吸い上げて形にするような機能も必要。</p>
委員	<p>こういったことすべて少しずつでも実現していきたい。キャッチフレーズの件はとても重要。しかし、すぐには思いつかないので、次回持ち越しにしてほしい。</p>
委員	<p>キーワード自体がわりと似通っているので、なるべくシンプルな方がいい。横文字での表現は高齢者には厳しいと思うが、解説を加えればいいのか。</p>
事務局	<p>「つながりが生まれる拠点」といったキーワードの部分の説明を増やし、各機能については簡潔にまとめることが望ましいと思う。</p> <p>具体的な機能については意見書の中にあればいい。</p>

副会長	<p>ミッション・理念をしっかりと打ち出すことと、具体的にどういう機能をもたせるかというところを分けて整理する必要がある。言葉が硬い部分も多い。</p> <p>どう変えるのかは、次回までに皆様に考えていただきたい。</p>
事務局	<p>今回は意見書案を作成し議論する予定だが、今回いただいた意見を踏まえて骨子を修正する。</p>
委員	<p>今回の案内文に自分の考えをまとめてくるよう、記載してほしい。</p>
副会長	<p>表題についてはもっと思い切って遊んでもいい。皆様がイメージしていることを一語で表せるようなことを考えてほしい。</p>
委員	<p>面白いことがたくさんありそうで老いも若きもわくわくするような表現で、もう少し柔らかい表現が見つけられるといい。</p>
	<p>6 その他</p>
副会長	<p>今回は骨子について意見をいただいた。今回は表題の検討と、意見書の内容を確認していく。会議はあと2回で終了となる。</p>
	<p>7 閉会</p>
事務局	<p>今回は6月頃に開催したいので、よろしくお願ひしたい。</p>

会議の公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： <u>1人</u></p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由</p> <p>( )</p>
会議録の開示・非開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： )</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： )</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
担当課	<p>政策推進課 (内線91-246)</p>